

日本学術会議基礎生物学委員会

IUBS 分科会 (第 24 期・第 1 回) 議事録案

日時：平成 30 年 2 月 27 日 (火) 10:00～11:30

場所：日本学術会議 5 階 5 - C (1) 会議室

出席者：武田洋幸，窪川かおる，塚谷裕一，西田治文，鷺谷いづみ

欠席者：なし

議題

・ 第 24 期の開始にあたり、武田委員より委員の紹介があった。なお、武田委員は 2019 年まで IUBS 会長を務めている。

・ 前回 (第 23 期・第 2 回) 議事要旨を確認した。

(1) 報告

1 . IUBS の活動

1) IUBS の活動について次の資料に基づき武田委員より詳細な説明があった。資料は、IUBS に関する日本学術会議への提出書類(分科会設置説明、加入国際学術団体に関する調査票)、IUBS ホームページ、IUBS Executive Committee meeting 会議資料であった。なお、IUBS

総会は、創立 100 周年となる 2019 年にオスロで開催される。また、Executive Committee (EC) meeting は 2018 年 7 月 10-11 日に開催される予定である。

2) IUBS の活動例について武田委員より資料に基づき説明があった。研究プロジェクト Trans-disciplinary Research Oriented pedagogy for Improving Climate Studies and Understanding、分類学の危機問題への意見表出、西田委員らが編集した Biology International-Special Issue no 36, Disaster and Biodiveristy の発行が紹介された。

(2) 審議

1 . 特任連携会員の推薦と役員の決定

1) 武田委員より特任連携会員の推薦があり、植物分野から村上哲明氏 (首都大学東京)、動物学分野から長濱嘉孝氏 (基礎生物学研究所名誉教授) を 4 月の幹事会に提案することが承認された。

2) 役員の推薦と議論の結果、委員長に西田委員、副委員長に窪川委員、幹事に特任連携会員に推薦する村上氏を候補とすることが決定した。

2 . 今後の活動方針

1) 今後の IUBS 分科会の活動方針について、まず武田委員より次の 3 つの問題点が提示された。日本は拠出金額で IUBS に貢献しているが、国内では認知度が低く、プログラム等へ

の参加者が少ない。また、実働にあたる日本の若手研究者への引継ぎを考える必要がある。

これらの課題の解決に向けて活動をしていくことが全員一致で了承され、次回分科会で今後の活動を議論することとなった。

2) 次回は、EC meeting 後のできるだけ早い時期に開催する。

以上